



2015 年 3 月 17 日
ニュースリリース

ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールド 慈善活動拡大のためスンバ島のリゾート「ニヒワトゥ」 と提携 世界的なネットワークを活用してインドネシアの楽園の慈善的な取り組みを支える



ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールド（本社：米国ニューヨーク州、以下リーディングホテルズ）は、インドネシアのスンバ島のリゾート「ニヒワトゥ」と慈善活動を目的とした提携を締結しました。この提携は、スンバ財団の取り組みを促進させるために、リーディングホテルズのグローバルネットワークを利用する機会を受賞歴のあるリゾートに提供するものです。

東部インドネシアのスンバ島に位置するニヒワトゥは、特異な文化を形成する島の保全と保護をすること、地域住民（土着の民族）が家族を養う生計を立てることができることを意図として開発されました。スンバ財団を通して、リゾートが生むすべての利益は、清浄水の供給や 4 ヶ所あるマラリア診療所、栄養失調対策、学校給食プログラムを含め、多様な地域密着型の事業に注ぎ込まれます。また、リゾートで働くスタッフの 90%は近隣の村民を採用しています。

リーディングホテルズのテッド・テン社長兼最高経営責任者は、「ニヒワトゥは、社会的な善意を進めるために好ましい影響を与えることに意欲的であり、環境に与える影響を意識しています。我々の世界的な基盤の領域と強さを活用することが可能になることによって、善意への取り組みを遂行するためにこの特別なリゾートをサポートして参ります」と述べています。また、ニヒワトゥのジェームズ・マクブライド業務執行役員は、「テッドと私は長年の知り合いです。ニヒワトゥとスンバ財団についての我々の使命を彼に説明した際、彼は即座に賛同し、我々の慈善活動への支援を承諾してくれました。教育と医療の取り組みを通じて、この地域社会の発展を継続的に支援するリーディングホテルズのグローバルネットワークを利用できることを嬉しく思います」と述べています。

ニヒワトゥのリゾートは、植物が生い茂る庭に優雅な佇まいの 32 棟の茅葺きヴィラがあり、人里離れてプライバシーを確保するため、島の 500 ヘクタール以上の敷地に囲まれています。広々とした屋外リビングエリア、インドネシアの大理石を敷き詰めたバスルーム、プライベートプール、美しいインド洋の景色など、すべてが飾らないラグジュアリーの縮図と言えるでしょう。開放感のあるデザインは、スンバ島の建築様式の美しさと素朴さを反映しています。手付かずの自然環境の中にあるにも関わらず、24 時間のバトラーサービス、無制限 Wi-Fi 接続、上質な料理を提供しており、高級リゾートの快適性を阻害することはありません。

またテッド・テン社長兼最高経営責任者は、「ニヒワトゥは、独立系ホテルが多く加盟するリーディングホテルズに自然に溶け込むでしょう。我々の旅行者は、制約のない非日常を発見するための明確な意図を持ち、冒険心を掻き立てる世界に興味があります。ニヒワトゥでは、疑いもなく正真正銘、夢中になれる体験、島の魅力やそこに住む人々の生活そのものを体験することができるでしょう」と述べています。

象徴的なボートハウスでウォータースポーツに精通したスタッフチームは、ヤスを使った魚突き、スキューバダイビング、世界クラスの波がブレイクするサーフィンからフリーダイビングまで、ウォータースポーツを幅広く提供しています。家族旅行者は広大な屋外パール「メナラ」で、書籍、ゲーム、卓球、ビリヤード、星空の下での子供映画鑑賞を楽しむことができます。世界クラスのサーフィンに加えて、宿泊客は優れたスポーツフィッシング、森や滝を巡るハイキング、原住民族の村訪問など、他に類を見ないスンバ島の休日を楽しめます。

今春にリゾートは、ユニークなニヒ・オカ・スパ・サファリや近くのニヒ・オカ渓谷のみならず、新しいラグジュアリー・ヴィラを含め広範囲にわたり生み出していきます。リゾートでの体験はトレッキングで始まり、終日のんびりとプライベート・パールで過ごし、仕上げは無制限のスパ・トリートメント、ヨガ、ヘルシー料理で一日が終わります。3食付きの宿泊、Wi-Fi 接続、選ばれたツアーやアクティビティを含めた料金は1名利用または2名利用1室1泊900米ドルから（アルコール飲料は含まれません）。

ニヒワトゥについて

ニヒワトゥでの体験は、規制されていない自由、飾らないラグジュアリー、記憶に残る思い出のひとつになるでしょう。リゾートはインドネシア東部のスンバ島に位置し、バリ島の西方 400km のところにあります。世界的なサーフィンの拠点であり、インドネシアで最高のスポーツフィッシング、息をのむような迫力ある滝や先住民の村を巡るハイキング、蝶の観察、ワヌカカ川を下るスタンドアップパドルリングなどを楽しむことができます。ニヒワトゥは、特異な文化を形成する島の保全と保護をすること、地域住民（土着の民族）が家族を養う生計を立てることができるようなビジョンから生まれました。リゾートは地元住民の雇用率が90%以上で、真のおもてなしの精神を持つチームに誇りを持っています。ニヒワトゥの心と身体と魂の物語は、2011年にアメリカ人でブランド構築企業家クリス・バーチに辿り着き、翌年2012年には、長年の友人で多くの分野で活躍する南アフリカ生まれのホテル経営者ジェームズ・マクブライドと一緒にリゾートを購入しました。宿泊客には、地元の村の訪問だけでなく、2001年にリゾートによって設立されたスンバ財団の支援によって建てられた共同農場、学校、診療所への訪問も勧めています。

[http://www. www.sumbafoundation.org](http://www.sumbafoundation.org)

ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールドについて

ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールドは、ラグジュアリーホテルの予約マーケティングを行うホテルグループとして、世界でもっとも高い評価と信頼を得ています。厳しい審査基準を満たした選りすぐりのホテルやリゾート&スパが加盟しており、現在その数は世界80カ国で400軒以上に及びます。行き着く場所に根ざす加盟ホテルは、旅行者が求める目的地の本質を体験することができます。情熱的な人々によって高められた多様なスタイルと建築様式、そしてデザインと特徴的な文化体験を通して、加盟ホテルは次なる発見を求める好奇心旺盛な旅行者を満たしています。

ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールドの歴史は、見識を備えたヨーロッパのホテル経営者の手により、歴史と伝統を誇る38軒のホテルから成るホテルグループとして1928年に設立したことから始まりました。現在においてもこの栄誉ある伝統を引き継ぎ、革新的かつ独自性を持ち、その地域を代表する

魅力的なホテルが加盟しています。今日における顧客は、非常に高いサービスの質をホテルブランドに期待しています。また一方では人生を豊かにする真の旅行体験を求めています。ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールドに加盟するためには、常に質の高いサービスの規格を厳守し、卓越したホスピタリティの心を備えていなければなりません。ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールドもまた、加盟ホテル同様に個性的で優れたホテルグループとして認識されています。

報道・出版関係者からの問合せ先：

ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールド 日本支社
シニア・マーケティング&PR マネージャー

米田 美恵 (yoshie.yoneda@lhw-offices.com)

住 所：〒104-0061 東京都中央区銀座 6-14-8 9 階

電 話： 03-5551-0089 (直通)

リーディングホテルズ広報 ニュースリリース配信 担当
有限会社サンク・コミュニケーション

広報担当：小倉通孝 (ogura-cinq@pr.email.ne.jp)

近山典子 (chikayama-cinq@pr.email.ne.jp)

住 所：〒116-0002 東京都荒川区荒川 6-12-1 小倉硝子ビル 3 階

電 話： 03-3895-8467

一般からの予約・問合わせ先：

ザ・リーディングホテルズ・オブ・ザ・ワールド

フリーダイヤル：0120-086-230

リーディングホテルズ日本語ウェブサイト：<http://www.LHW.com/>